

# 当院のリハビリテーションについて

リハビリテーション科 片平 健人

4月から就職しました公立世羅中央病院 リハビリテーション科 片平健人と申します。今回は当院のリハビリについてお話ししたいと思います。

当院では、変形性関節症による痛みがある方や、脳卒中による麻痺がある方が、日常生活に難しさを感じている場合に、電気などの物理療法、筋力訓練などの運動療法といったリハビリを行っています。

治療やリハビリを行っても後遺症が残ってしまう場合もあります。しかしそのような場合にも諦めるのではなく、次のような事も一緒に考えていきます。

1. 手すりを付けることで動きやすい環境を整えることはできないか
2. 近くで介護してくださる方に対して、よりよい介護の方法を提案できないか

能力の回復を第一に、しかし回復が難しい場合にも諦めず、患者さん御本人・御家族の立場に立ち、きめ細かく、希望に寄り添う事を目指しています。

また当院では、病気によって日常生活に困難さがある方の短期集中リハビリ入院の相談も受け付けています。

1. トイレの手伝いをする際にあと少し立つ姿勢が安定すれば、より手伝いが楽になる
2. 立ち上がる時の踏ん張る力がもう少しつければ、より手伝いが楽になる
3. 通所リハビリだけでなく、もっと集中してリハビリしたい
4. 正しい自主訓練の方法を定着させたい

そのような悩みを持つ方はぜひ一度ご相談下さい。病院での筋力訓練や自宅での自主訓練の提案などが行える可能性があります。改善が難しい場合にも、手すりの設置やよりよい介護の方法などを検討できる可能性もあります。

病院で出来るリハビリには限度もあるため、そのような場合には、今ある能力が落ちないようにリハビリを継続できる施設にご相談する場合があります。訪問看護（リハビリ）、通所介護、通所リハビリなどご本人に合った方法が見つかるかもしれません。

4月からリハビリを専門とする医師が私を含めて2人増えました。患者さん御本人はもちろん御家族の方にとっても、より希望に沿った生活が実現できる事を目指して診療を行っています。①痛みがある、②筋力が落ちた、③関節の動きに制限がある、④麻痺がある、⑤日常生活に難しい場面があるような場合には、お力になれることがあるかもしれませんので、ご相談いただければと思います。

